

# 東播

## ■東播支社

〒675-0031  
加古川市加古川町  
北在家2311

## 編集部

TEL...079-422-2073  
FAX...079-421-1023

## e-mail

toban@kobe-np.co.jp

## 業務部

TEL...079-422-2889

## ■高砂支局

〒676-0022  
高砂市高砂町浜田町  
1-8-21

TEL...079-442-0721

## ■北播総局

〒673-1431  
加東市社1386-8  
TEL...0795-42-5656  
FAX...0795-42-4112

## ■姫路支社

〒670-0964  
姫路市豊沢町78  
TEL...079-281-1125  
FAX...079-281-9277

**広告の  
ことなら**  
気軽に  
お電話下さい

◀(株)神戸新聞事業社  
東播支社  
加古川市加古川町北在家2311  
神戸新聞東播支社ビル内  
☎(079)423-0434

## 軟式野球 東播拠点70歳以上で編成

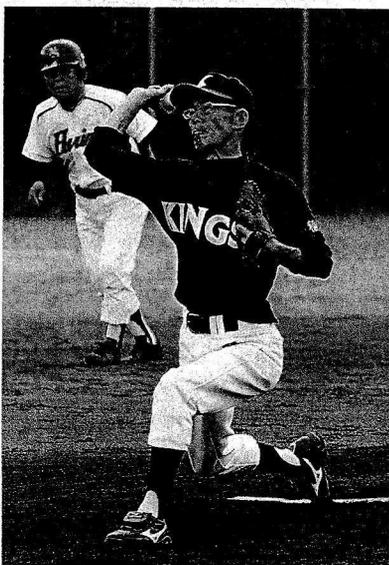
東播を拠点とし、70歳以上の選手でつくる軟式野球の古希チーム「播磨ナインスターズ」と「稲美キングス」が、精力的に活動している。週2、3回ほど練習を重ね、懸命に白球を追い掛ける。かつて中学や高校時代に打ち込んだ元野球少年らは、衰えない競技への情熱を見せている。

2001年結成の播磨ナインスターズ。60歳以上の45人が所属し、70歳以上の24人で古希チームを編成している。代表の安田昭人さん(74)は加古

# 元気はつらつ 古希チーム

川市平岡町一色は、今年1月に右肩の手術を受けてプレー再開に向けてリハビリ中。「昔のように夢を追い掛けたい」と意気込む。

稲美キングスは2010年に結成され、現在は70歳以上の33人が集う。主将の本川昭一郎さん(74)は稲美町中一色は「体力的にはきついけど、みんなと仲良くプレーできるのが楽しい」と話す。両チームは高蘭寺球場



「野球少年」のような気持ちでプレーを楽しむ

(稲美町野寺)でこのほど対戦した。試合は、県で稲美に勝利。稲美の本川さんは「播磨とはチーム力に差はあるが、10月の次回対戦までに守備力を向上させたい」と話していた。(辰巳直之)

## 「播磨」と「稲美」変わらぬ情熱

懸命に走り、次々とホームインする選手たち。いずれも高蘭寺球場



## 東播の多席

▼ラジオ体操の播州弁バージョン2作目を制作へ。「手足の運動すんど」「がいよ曲げよ」

1。せりふが長くなり、体操の動きと合わない部分が多かったという1作目も味わい深かった。どう変わるのか楽しみ。  
▼70歳以上とは思え